

2026年度 第1四半期 決算説明会

2026年7月31日
株式会社村田製作所

当第1四半期決算説明会のトピックス(1/2)

2026年度 第1四半期実績

売上収益 5,023億円

- 第1四半期は当社過去最高となる四半期売上収益となった。前年同期比で+20.7%増収。為替影響除きで+12.6%増収。
- リチウムイオン二次電池がパワーツール向けで減少したものの、コンポーネントを中心にデータセンター、モビリティなど幅広い用途が伸長した。

営業利益 985億円

- 前年同期比で+59.8%増益。為替影響除きで+32.6%増益。
- 固定費の増加や製品価格の値下がりなどの減益要因があったものの、生産高増加に伴う操業度益や円安効果などにより増益。

当第1四半期決算説明会のトピックス(2/2)

2026年度 業績予想（7月）

売上収益 21,100億円

- 過去最高となる売上収益を更新。4月予想比で+7.7%、+1,500億円の上方修正。
為替影響除きで+4.8%増収。
- AIサーバー向けを中心としたデータセンター関連の部品需要拡大に加え、為替前提の見直し
(第2四半期以降155円/USD)が主な要因。

営業利益 4,300億円

- 過去最高となる営業利益を更新。4月予想比で+13.2%、+500億円の上方修正。
為替影響除きで+5.9%増益。
- 年間利益予想に対しては、材料費の高騰や固定費の増加が減益要因となる一方、生産高の増加に伴う操業度益や円安効果が増益要因として寄与。

設備投資 2,550億円

- 4月予想比で+50億円修正。主にデバイス・モジュール製品において、需要の増加に対応するため、設備投資の計画を引き上げる。

株主還元

- 年間配当金は前回公表値を据え置く。
- 当年度に予定している1,500億円の自己株式取得についても、当初方針どおり実施する予定。

2026年度 第1四半期 業績概要および事業概況

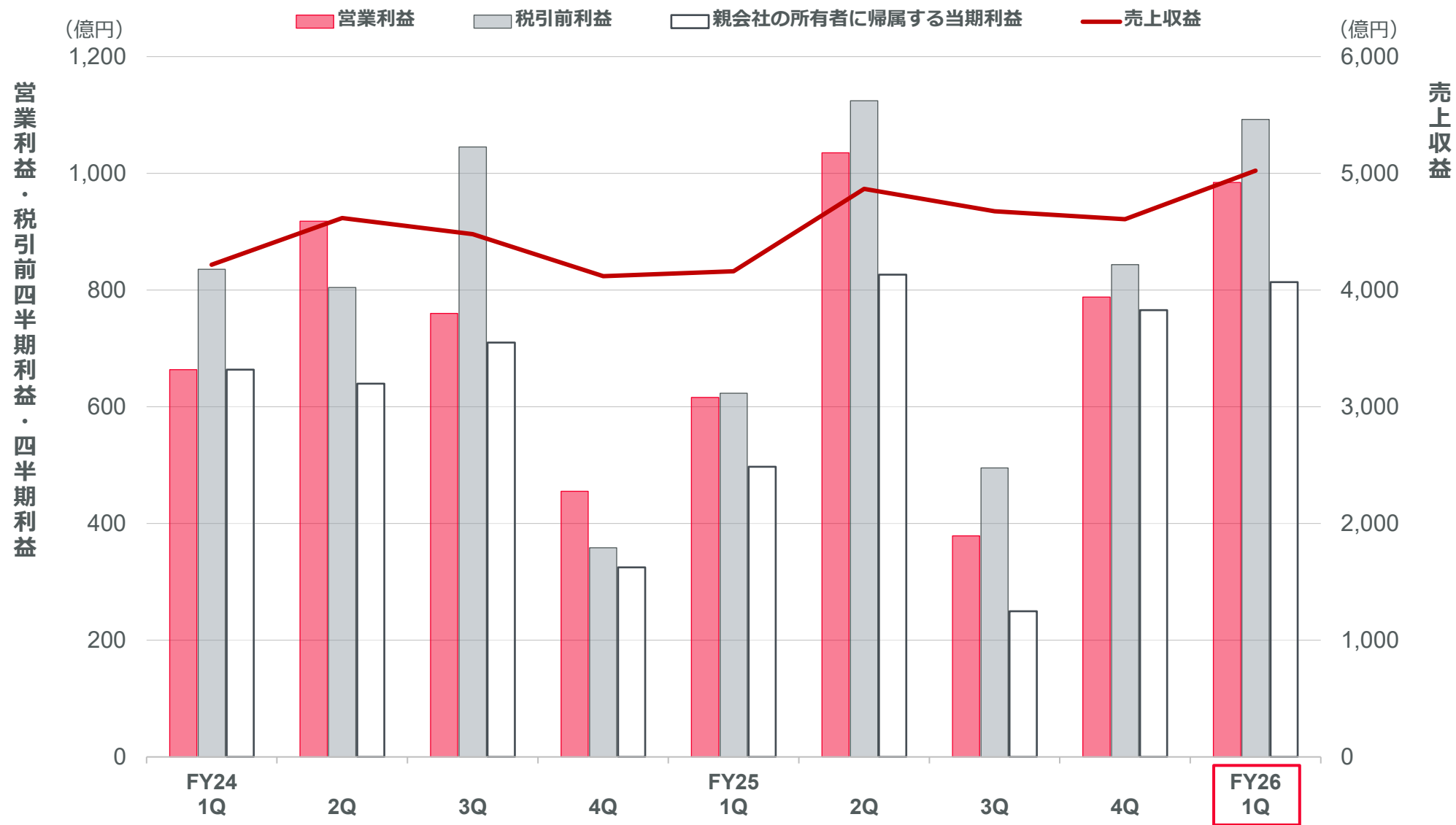
2026年4月～2026年6月
第1四半期連結累計期間

前年同期比

- 売上収益は、リチウムイオン二次電池が、パワーツール向けで減少したものの、コンポーネントを中心にデータセンター、モビリティなど幅広い用途が伸長した。為替の円安影響も加わり、増収となった。
- 営業利益は、固定費の増加や製品価格の値下がりなどの減益要因に対し、生産高増加に伴う操業度益や円安効果などの増益要因により増益となった。

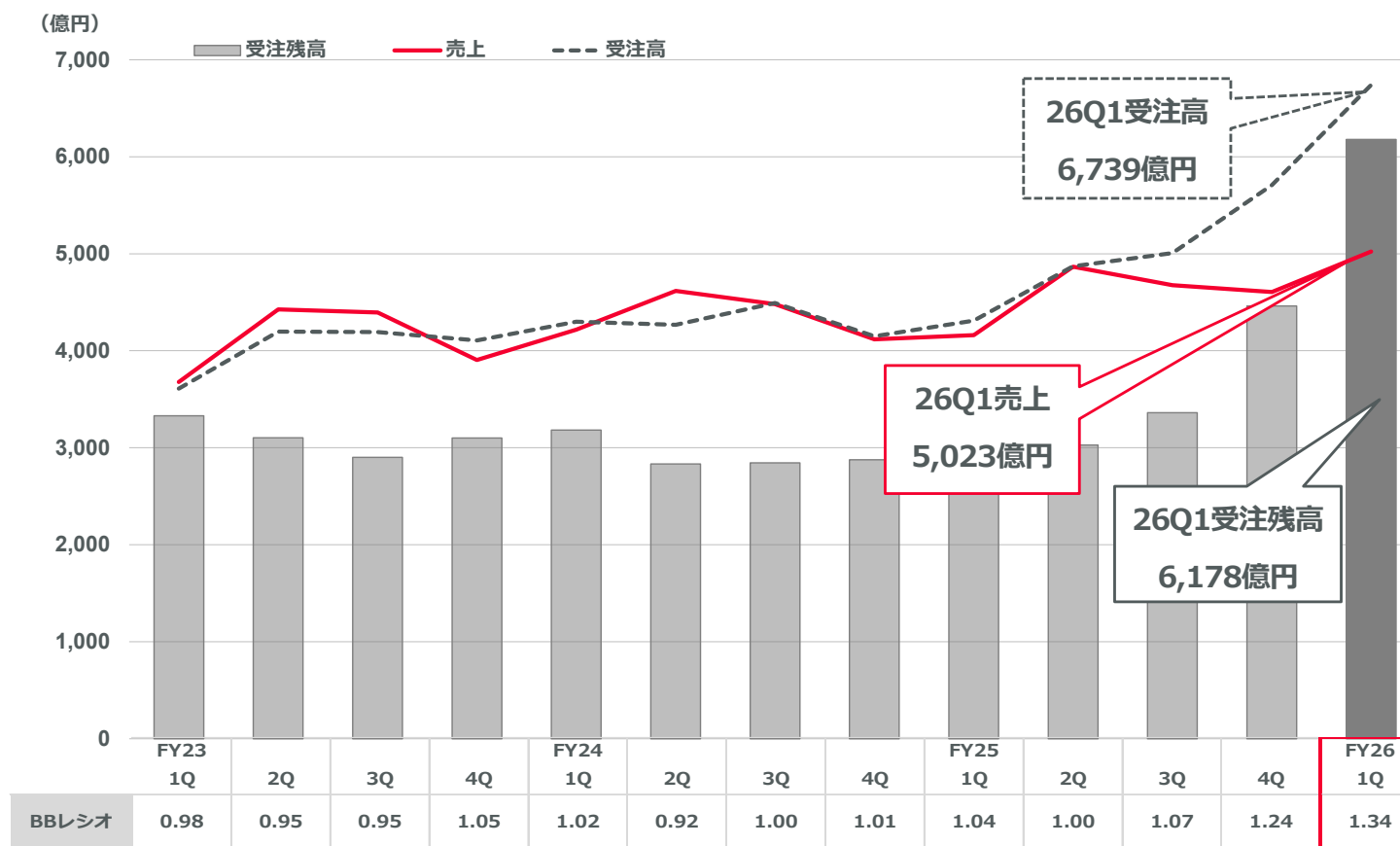
	2025年度 第1四半期		2025年度 第4四半期		2026年度 第1四半期		前年同期比					直前四半期比	
							26Q1／25Q1		為替影響	為替影響除き		26Q1／25Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上収益	4,162	100.0	4,606	100.0	5,023	100.0	+861	+20.7	+335	+526	+12.6	+416	+9.0
営業利益	616	14.8	788	17.1	985	19.6	+368	+59.8	+168	+201	+32.6	+196	+24.9
税引前利益	623	15.0	844	18.3	1,092	21.7	+469	+75.3				+249	+29.5
親会社の所有者に 帰属する当期利益	497	11.9	766	16.6	814	16.2	+317	+63.7				+48	+6.3
為替 (円/USD)	144.60		156.87		159.49		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益：約90億円 営業利益：約45億円						

業績推移（四半期）



売上・受注・注残推移（四半期）

- 四半期の受注高は過去最高となった。データセンター向け需要が引き続き堅調に推移したことに加え、幅広い用途で受注が増加し、前年同期比および直前四半期比ともに増加した。
- 長納期案件の増加に加え、一部用途では供給逼迫を懸念した前倒し受注の懸念もあるため動向に注視していく。



(注) 受注高=売上+当四半期受注残高-前四半期受注残高 受注残高は、各四半期末日時点の為替レートに基づき算出。

※対米ドル為替レート 2025年6月末：144.82円、2026年3月末：159.93円、2026年6月末：162.45円

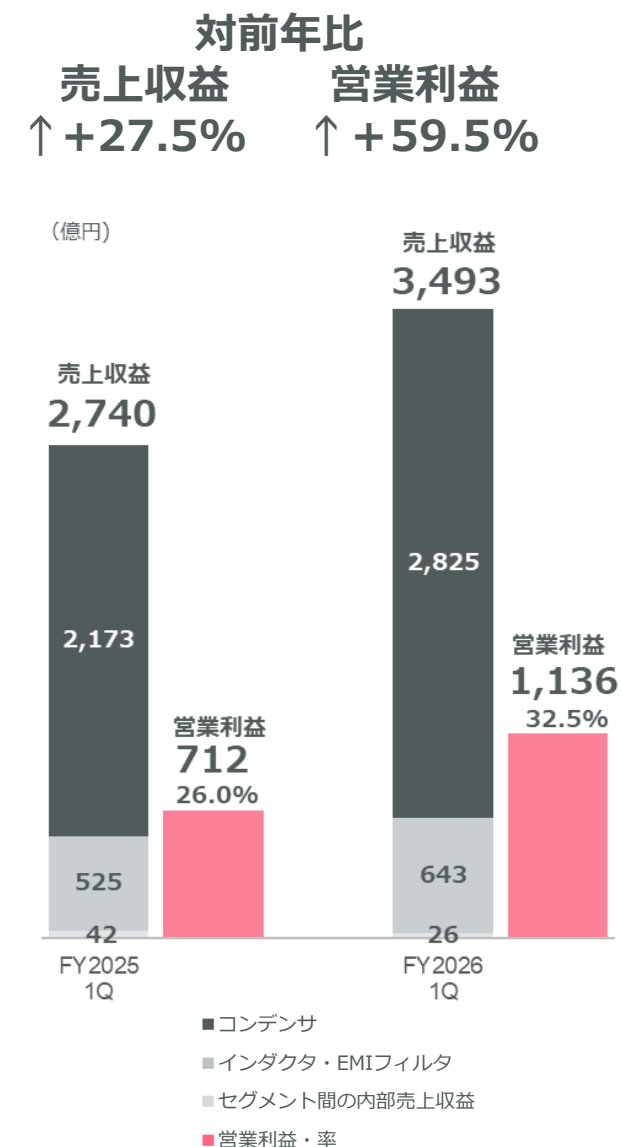
事業別セグメント売上収益

	2025年度 第1四半期		2025年度 第4四半期		2026年度 第1四半期		前年同期比 26Q1／25Q1		直前四半期比 26Q1／25Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	2,173	52.2	2,424	52.6	2,825	56.2	+652	+30.0	+401	+16.5
インダクタ・EMIフィルタ	525	12.6	562	12.2	643	12.8	+118	+22.4	+81	+14.3
高周波・通信	821	19.7	899	19.5	861	17.2	+41	+5.0	▲38	▲4.2
エナジー・パワー	358	8.6	402	8.7	348	6.9	▲10	▲2.7	▲54	▲13.5
機能デバイス	248	6.0	278	6.1	305	6.1	+57	+23.0	+27	+9.7
その他	37	0.9	41	0.9	41	0.8	+4	+10.0	+0	+0.1
売上収益計	4,162	100.0	4,606	100.0	5,023	100.0	+861	+20.7	+416	+9.0

(注) 当社推計値に基づいております。

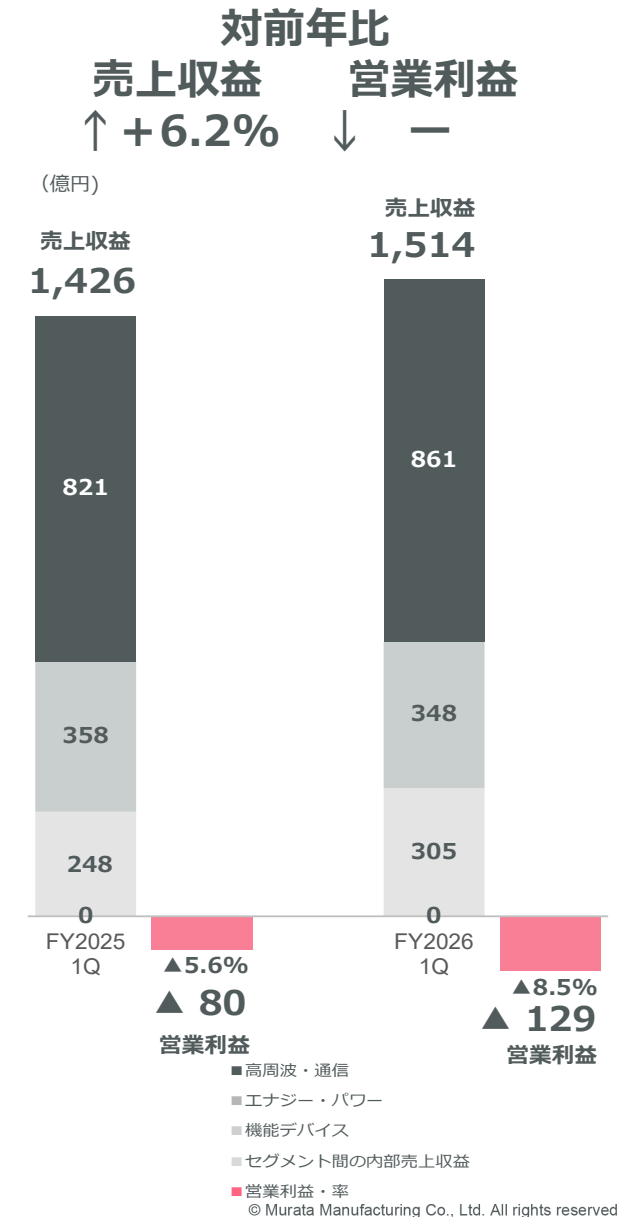
セグメント別概況ーコンポーネント [2025年度1Q→2026年度1Q]

売上収益	コンデンサ (前年同期比+30.0%)	○積層セラミックコンデンサ（MLCC） データセンターやモビリティ向けを中心に増加
	インダクタ・EMIフィルタ (前年同期比+22.4%)	○EMI除去フィルタ モビリティやデータセンター向けで増加 ○インダクタ スマートフォンやモビリティ向けで増加
営業利益		製品価格の値下がりや材料価格の高騰などの減益要因があったものの、生産高の増加に伴う操業度益や円安効果により前年同期比で増益。



セグメント別概況ーデバイス・モジュール [2025年度1Q→2026年度1Q]

売上収益	高周波・通信 (前年同期比+ 5. 0 %)	▲高周波モジュール スマートフォンやP C向けで減少 ○樹脂多層基板 スマートフォン向けで増加
	エナジー・パワー (前年同期比▲ 2. 7 %)	○電源モジュール データセンター向けで増加 ▲リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで減少 マイクロ一次電池の事業譲渡の影響で減少
	機能デバイス (前年同期比+ 2 3. 0 %)	○センサ モビリティやスマートフォン向けで増加
営業利益		円安進展による増益要因があったものの、売 価値下げや材料価格の高騰、電源モジュール 事業でのPJTドロップによる損失影響により 減益。 ※比較には当期発生した一時費用の影響が含まれ ております。

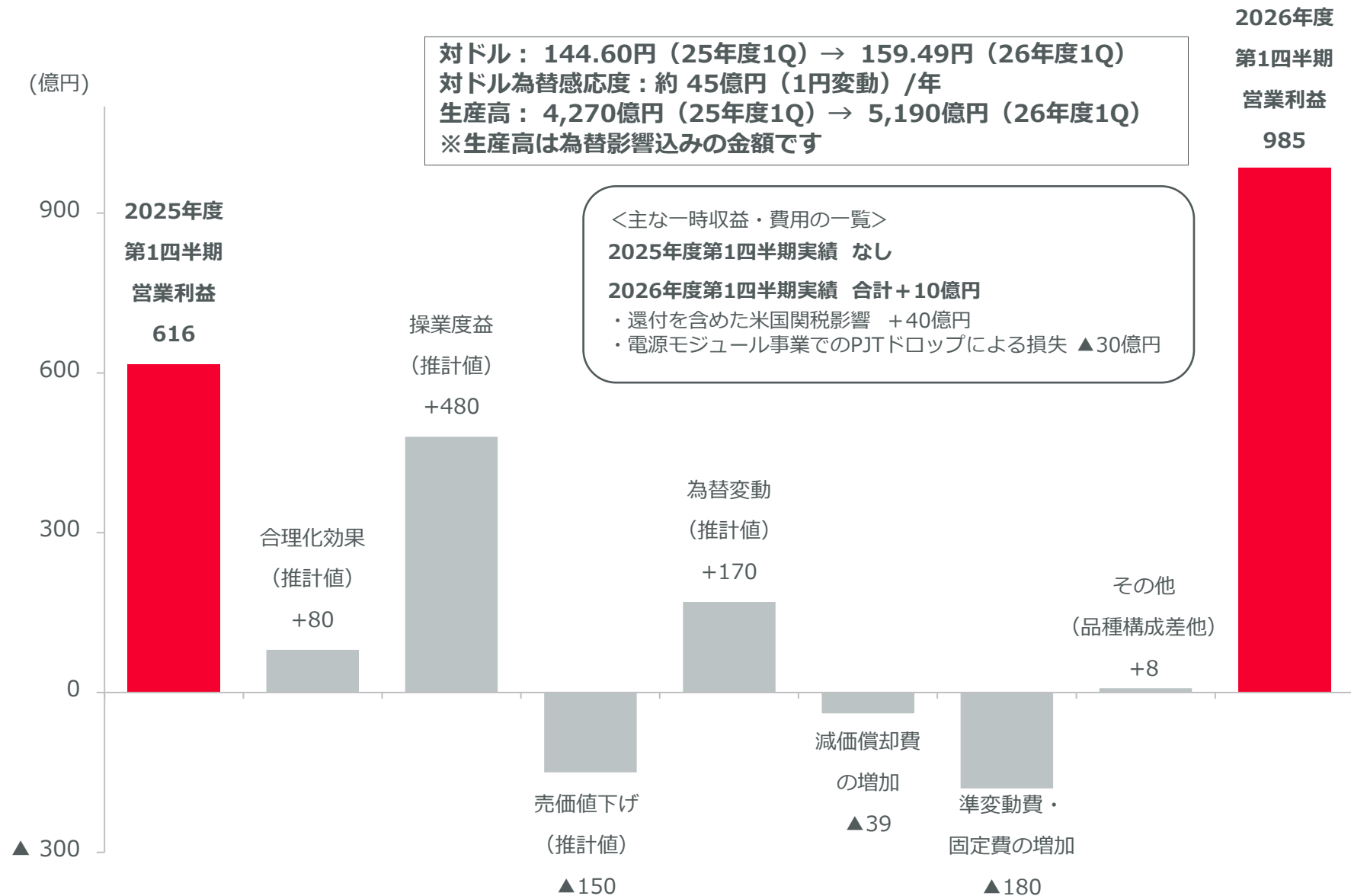


用途別売上収益

	2025年度 第1四半期		2025年度 第4四半期		2026年度 第1四半期		前年同期比 26Q1／25Q1		直前四半期比 26Q1／25Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
通信	1,376	33.1	1,527	33.2	1,564	31.1	+189	+13.7	+37	+2.4
モビリティ	1,133	27.2	1,181	25.6	1,316	26.2	+182	+16.1	+134	+11.4
コンピュータ	700	16.8	872	18.9	1,029	20.5	+329	+47.0	+157	+18.0
内：データセンター関連	385	9.2	560	12.2	697	13.9	+312	+81.1	+137	+24.4
家電	368	8.9	337	7.3	343	6.8	▲25	▲6.7	+6	+1.9
産業・その他	585	14.0	689	15.0	771	15.4	+186	+31.9	+82	+11.9
売上収益計	4,162	100.0	4,606	100.0	5,023	100.0	+861	+20.7	+416	+9.0

(注) 当社推計値に基づいております。

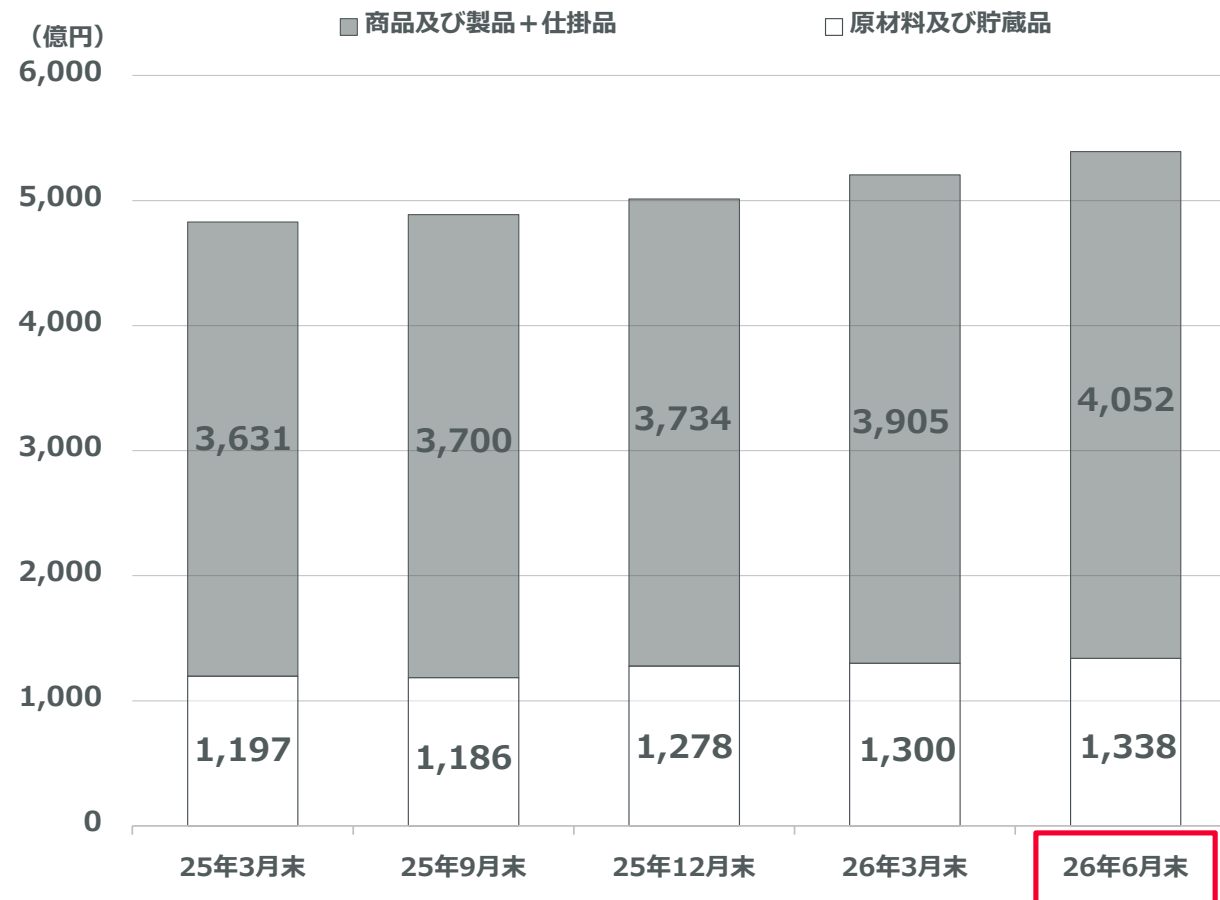
利益変動要因 [2025年度1Q→2026年度1Q]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

棚卸資産の状況

- 2026年6月末の棚卸資産は、前四半期末比で+185億円増加、期末為替レートが円安に進行したことによる影響を除くと、同+134億円程度の増加。
- スマートフォンの季節性による取り込みに向けた在庫積み増しにより、樹脂多層基板や高周波モジュールを中心に棚卸資産が増加。コンデンサは足元の需要の高さから微減となった。



キャッシュフロー

	2025年度 第1四半期 (億円)	2026年度 第1四半期 (億円)	増減 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	400	422	+22
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 336	▲ 751	▲415
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 960	▲ 676	+285
為替変動による影響	▲ 160	42	+202
現金及び現金同等物の残高	5,196	5,575	+379
フリーキャッシュフロー	64	▲ 329	▲393
固定資産の取得による支出	▲ 478	▲ 571	▲93
減価償却費及び償却費	420	456	+36

2026年度 業績予想

2026年4月～2027年3月

- ・ **スマートフォン**：メモリ半導体の供給制約を受け、ミドル・ローエンドモデル、IDHを中心に前年比▲0.5億台の減少を見込む。なおハイエンドモデルへの影響は限定的。
- ・ **自動車**：xEVの比率は高まるも、原油価格の高騰によりICEが減少し、前年比▲180万台の減少を見込む。
- ・ **PC**：メモリ半導体の供給制約を受け、前年比▲0.4億台の減少を見込む。

	2025年度 実績	2026年度 前回予想(4月)	2026年度 今回予想(7月)	増減	
				前年度比	前回予想比
スマートフォン	12.4 億台	12.0 億台	11.9 億台	▲4%	▲1%
内 5G端末構成比率	65.7 %	67.7 %	67.7 %	+3%	横這い
自動車	9,217 万台	9,295 万台	9,036 万台	▲2%	▲3%
内 xEV構成比率	42.5 %	49.5 %	50.2 %	+18%	+1%
PC	4.0 億台	3.6 億台	3.6 億台	▲10%	横這い

(注) スマートフォンとPCは部品取込ベース、自動車は生産台数ベース

2026年度 業績予想

- 通期業績予想は、売上収益・利益ともに過去最高を更新。 ※前提為替レートは、第2四半期以降1ドル=155円に変更
- 売上収益は、AIサーバー向けを中心としたデータセンター関連の部品需要の拡大に加え、為替前提の見直しを主因に、4月業績予想を上回る見通し。
- 営業利益は、材料費の高騰や固定費の増加が減益要因となる一方、生産高の増加に伴う操業度益や円安効果がこれを上回り、4月業績予想を上回る見通し。

	2026年度				2026年度				前回予想比				
	上期予想 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想 (4月) (億円) (%)		上期予想 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想 (7月) (億円) (%)		4月予想/7月予想 (億円) (%)		為替影響 (億円)	為替影響除き (億円) (%)	
売上収益	9,595	10,005	19,600	100.0	10,367	10,733	21,100	100.0	+1,500	+7.7	+551	+949	+4.8
営業利益	1,770	2,030	3,800	19.4	2,020	2,280	4,300	20.4	+500	+13.2	+275	+225	+5.9
税引前利益	1,820	2,080	3,900	19.9	2,160	2,350	4,510	21.4	+610	+15.6			
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,370	1,560	2,930	14.9	1,610	1,770	3,380	16.0	+450	+15.4			
ROIC(税引後) (%)			12.3				13.9						
為替 (円/USD)			150.00				156.12		※対ドル為替感応度(1円変動/年) 売上収益：約90億円 営業利益：約45億円				

	4月時点の業績予想前提	7月時点の業績予想前提
売 上	- データセンター関連の部品需要が大幅に伸長 - メモリ半導体の影響による供給制約 - 中華圏を筆頭にxEV化は進展 - 製品価格の値下がりはやや緩やかに - 通期前提為替レート：150円/USD	- データセンター関連の部品需要は前回予想よりも伸長 - セット台数減少も、当社部品の取込ベースは堅調さを維持 - 製品価格の値下がりはやや緩やかに - 第2四半期以降の前提為替レート：155円/USD
生 産	- データセンター向け需要を背景に生産高は増加 - コンポーネントを中心に今後の需要増に備えた在庫積み増しを計画	今後の需要増に備え、年間在庫は積み増しとなるものの、前回予想からは在庫減
費 用	- ホルムズ海峡の封鎖影響によるコスト増 - 原材料価格の高騰 - 人的資本投資やDX関連費用等経費支出の増加 - データセンター向けの小型大容量品向けの能力増強投資に向け、必要な投資を実行	- 貴金属などの原材料価格の高騰やホルムズ海峡の封鎖影響によるコスト増 - 経費支出は想定通りを予定。加えて生産増に伴う人件費の増加などのコスト増を計画 - 中長期視点での投資計画に変更なし

事業別セグメント売上予想

	2025年度			2026年度		
	実績	上期予想	下期予想	通期予想 (7月)	増減	
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)
コンデンサ	9,364	5,696	5,879	11,575	+ 2,211	+ 23.6
インダクタ・EMIフィルタ	2,233	1,289	1,259	2,548	+ 315	+ 14.1
コンポーネント	11,597	6,985	7,138	14,123	+ 2,526	+ 21.8
高周波・通信	3,948	1,938	1,866	3,804	▲145	▲3.7
エナジー・パワー	1,541	759	1,032	1,791	+ 250	+ 16.2
機能デバイス	1,071	601	591	1,193	+ 122	+ 11.4
デバイス・モジュール	6,560	3,298	3,490	6,787	+ 228	+ 3.5
その他	152	85	105	190	+ 38	+ 25.3
売上収益計	18,309	10,367	10,733	21,100	+ 2,791	+ 15.2

(注) 当社推計値に基づいております。

事業別セグメント売上予想 [2025年度実績→2026年度予想]

コンデンサ (前期比+ 23.6%)	○ 積層セラミックコンデンサ (MLCC) データセンター向けの旺盛な部品需要により増加を計画
インダクタ・EMIフィルタ (前期比+ 14.1%)	○ EMI除去フィルタ データセンターやモビリティ向けを中心に増加を計画
高周波・通信 (前期比▲ 3.7%)	▲ 樹脂多層基板 スマートフォン向けで減少を計画
エナジー・パワー (前期比+ 16.2%)	○ 電源 サーバー向けで増加を計画 ▲ リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで減少を計画
機能デバイス (前期比+ 11.4%)	○ アクチュエータ HDD向けの需要増により増加を計画 ○ センサ・タイミングデバイス モビリティ向けでセンサの需要増により増加を計画

(注) 当社推計値に基づいております。

用途別セグメント売上予想

	2025年度			2026年度	増減	
	実績 (億円)	上期予想 (億円)	下期予想 (億円)	通期予想 (7月) (億円)	(億円)	(%)
通信	6,530	3,373	3,266	6,640	+110	+1.7
モビリティ	4,745	2,595	2,557	5,152	+407	+8.6
コンピュータ	3,104	2,225	2,795	5,020	+1,916	+61.7
内：データセンター関連	1,767	1,562	2,144	3,706	+1,939	+109.7
家電	1,427	676	612	1,288	▲139	▲9.7
産業・その他	2,503	1,498	1,502	3,000	+497	+19.8
売上収益計	18,309	10,367	10,733	21,100	+2,791	+15.2

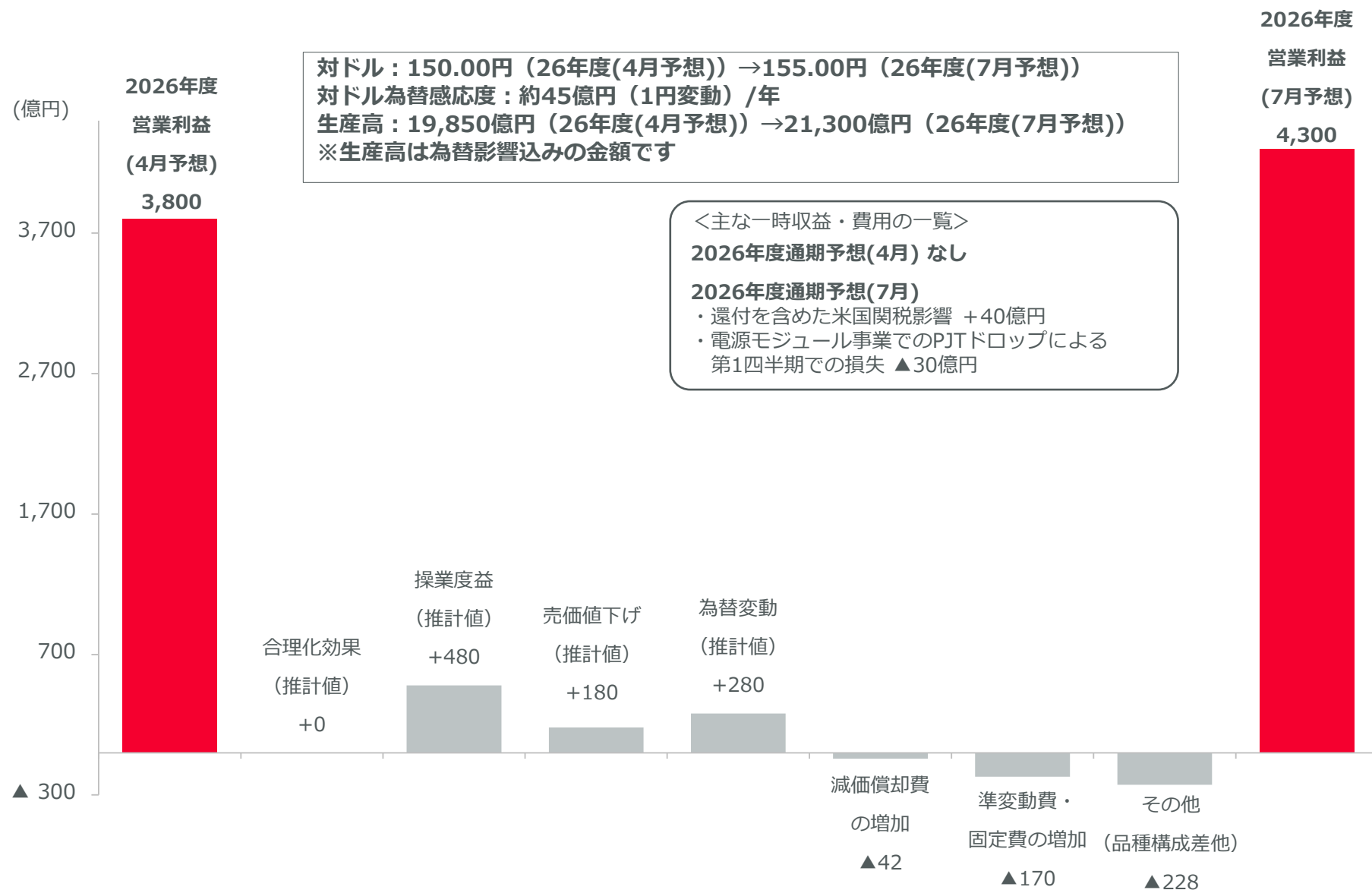
(注) 当社推計値に基づいております。

用途別売上予想 [2025年度実績→2026年度予想]

通信 (前期比+ 1. 7%)	○ スマートフォン向けでコンデンサの増加を計画
モビリティ (前期比+ 8. 6%)	○ 自動車向けでコンデンサやセンサの増加を計画
コンピュータ (前期比+ 61. 7%)	○ データセンター向けでコンデンサや電源モジュールが増加を計画
家電 (前期比▲ 9. 7%)	▲ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池の減少を計画
産業・その他 (前期比+ 19. 8%)	○ 代理店向けでコンデンサを中心に増加を計画

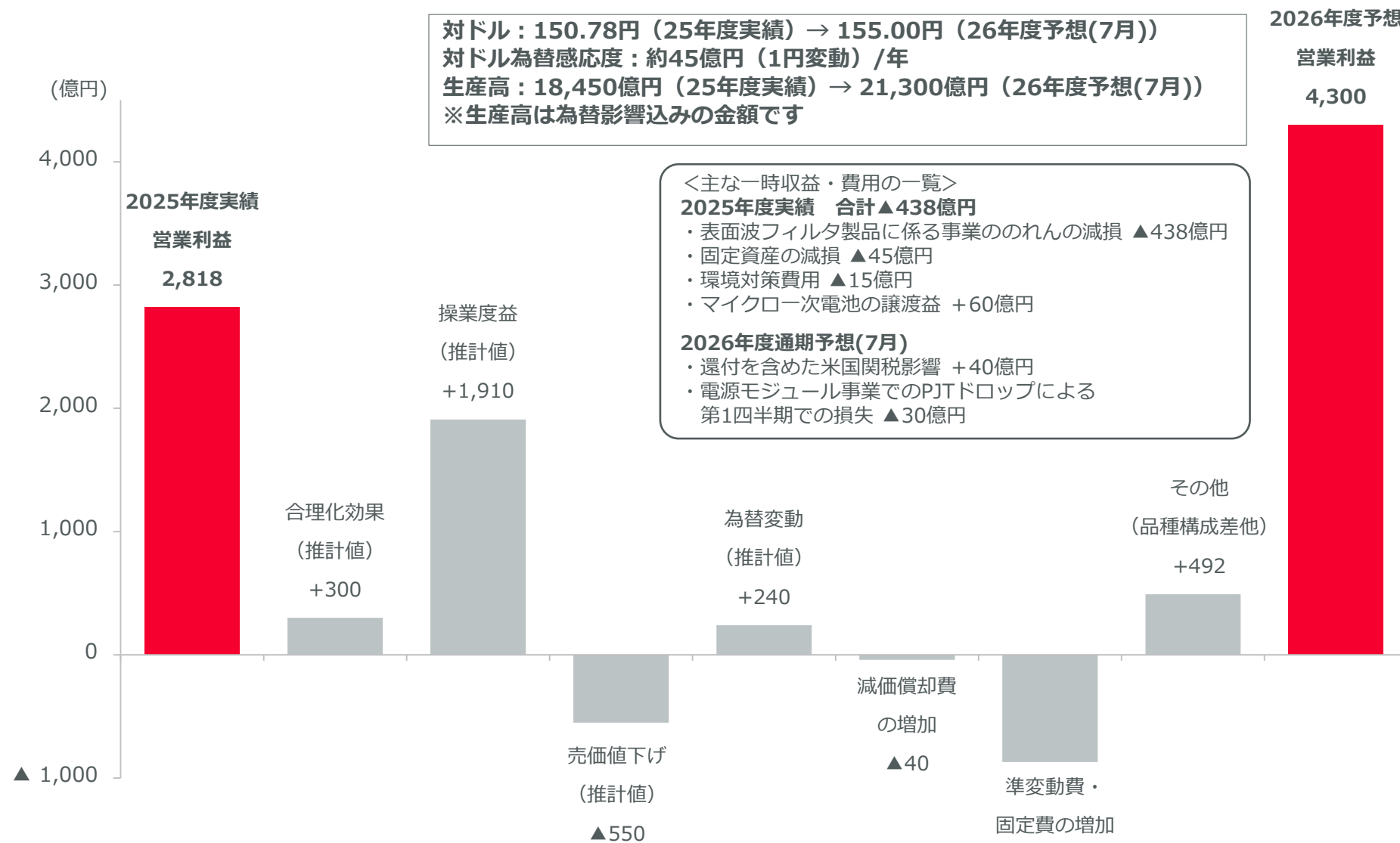
(注) 当社推計値に基づいております。

利益変動要因[2026年度通期予想(4月)→2026年度通期予想(7月)]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

利益変動要因[2025年度実績→2026年度通期予想(7月)]

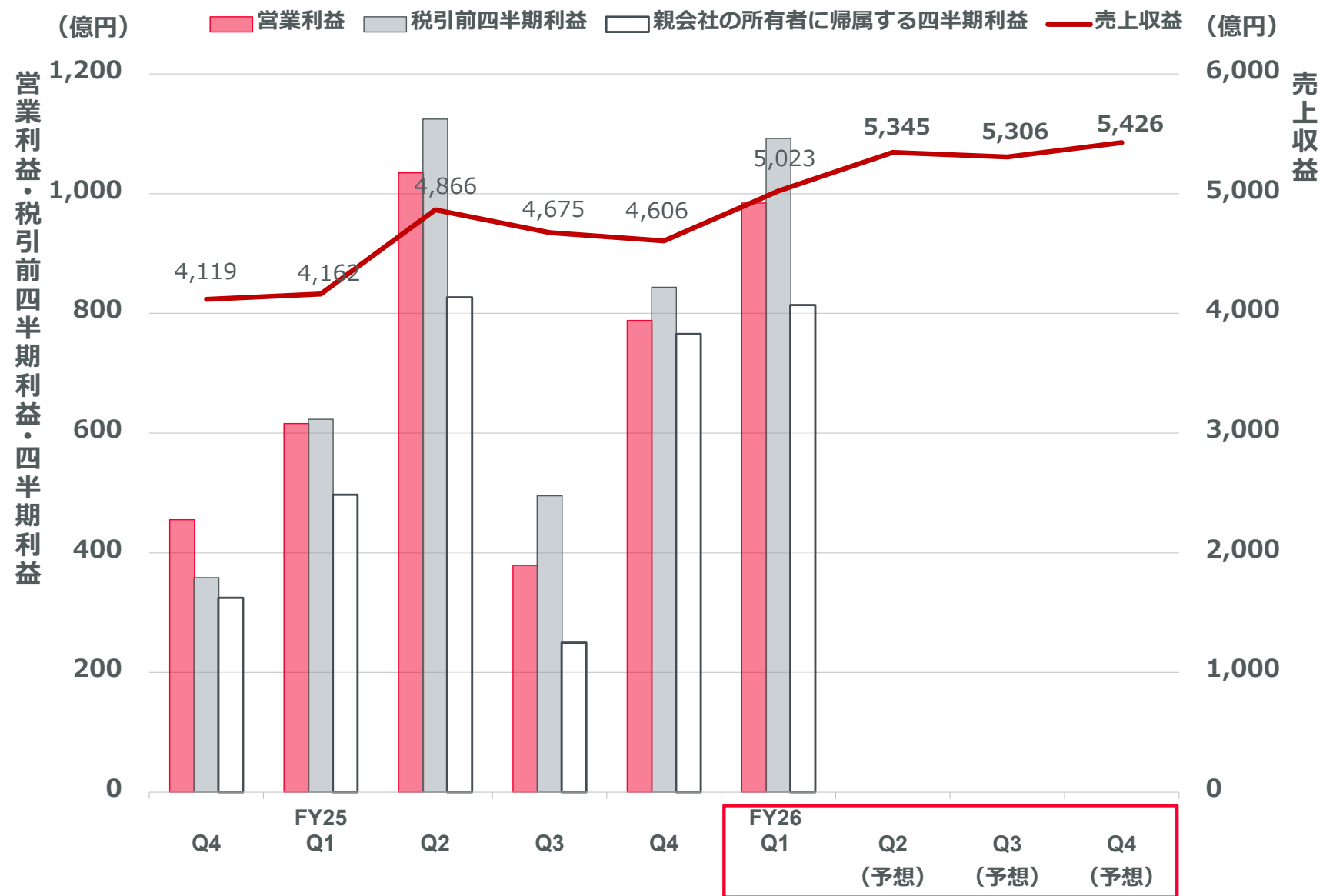


※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

業績予想の前提

	2025年度 実績	2026年度 予想（7月）
減価償却費	1,782 億円	1,820 億円
研究開発費	1,589 億円	1,740 億円
設備投資額	2,478 億円	2,550 億円
為替レート	150.78 円/USD	156.12 円/USD

業績推移（四半期）



当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります、これらの業績見通しに過度に依存しないようにお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

補足

連結財政状態計算書

(単位：億円)

	2026年 3月期末	2026年 6月期末	増減
現金及び 現金同等物	6,537	5,575	▲962
営業債権	3,282	3,482	+200
棚卸資産	5,205	5,390	+186
その他の流動資産	791	1,286	+495
流動資産合計	15,814	15,733	▲81
有形固定資産	13,009	13,065	+56
使用権資産	596	599	+4
のれん	995	1,007	+12
その他の 非流動資産	1,578	1,700	+123
非流動資産合計	16,177	16,372	+195
資産合計	31,991	32,105	+114

	2026年 3月期末	2026年 6月期末	増減
社債及び借入金	33	26	▲6
営業債務	798	807	+9
その他流動・ 非流動負債	3,982	3,693	▲289
負債合計	4,813	4,526	▲287
親会社の所有者に 帰属する持分合計	27,187	27,589	+401
非支配株主持分	▲9	▲10	▲0
資本合計	27,178	27,579	+401
負債及び資本合計	31,991	32,105	+114

(単位：円)

	2026年 3月期末	2026年 6月期末	差
期末日為替レート			
為替 (円/USD)	159.93	162.45	2.52 円安

事業別セグメント売上収益概況 [2025年度4Q→2026年度1Q]

コンデンサ (直前四半期比+ 16.5%)	○ 積層セラミックコンデンサ (MLCC) データセンター、モビリティ、代理店向けを中心に増加
インダクタ・EMIフィルタ (直前四半期比+ 14.3%)	○ EMI除去フィルタ モビリティやデータセンター向けで増加 ○ インダクタ モビリティやスマートフォン向けで増加
高周波・通信 (直前四半期比▲ 4.2%)	▲ 樹脂多層基板 スマートフォン向けで減少
エナジー・パワー (直前四半期比▲ 13.5%)	▲ リチウムイオン二次電池 パワーツール向けで減少 マイクロ一次電池の事業譲渡の影響で減少
機能デバイス (直前四半期比+ 9.7%)	○ センサ スマートフォンやモビリティ向けで増加

(注) 当社推計値に基づいております。

用途別売上収益概況 [2025年度1Q→2026年度1Q]

通信 (前年同期比+ 13.7%)	▲スマートフォン向けで高周波モジュールが減少 ○スマートフォン向けでコンデンサや樹脂多層基板が増加
モビリティ (前年同期比+ 16.1%)	○ 自動車向けでコンデンサ、EMI 除去フィルタ、センサが増加
コンピュータ (前年同期比+ 47.0%)	○ データセンター向けでコンデンサ、電源モジュール、リチウムイオン二次電池が増加
家電 (前年同期比▲ 6.7%)	▲ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が減少
産業・その他 (前年同期比+ 31.9%)	○ 代理店や産業機器向けでコンデンサが増加

(注) 当社推計値に基づいております。

用途別売上収益概況 [2025年度4Q→2026年度1Q]

通信 (直前四半期比+ 2.4%)	▲ スマートフォン向けで樹脂多層基板が減少 ○ スマートフォン、基地局でコンデンサが増加
モビリティ (直前四半期比+ 11.4%)	○ 自動車向けでコンデンサ、EMI 除去フィルタ、インダクタが増加
コンピュータ (直前四半期比+ 18.0%)	○ データセンター向けでコンデンサが増加
家電 (直前四半期比+ 1.9%)	▲ パワーツール向けでリチウムイオン二次電池が減少 ○ AV 機器向けでコンデンサやリチウムイオン二次電池が増加
産業・その他 (直前四半期比+ 11.9%)	○ 代理店向けでコンデンサが増加

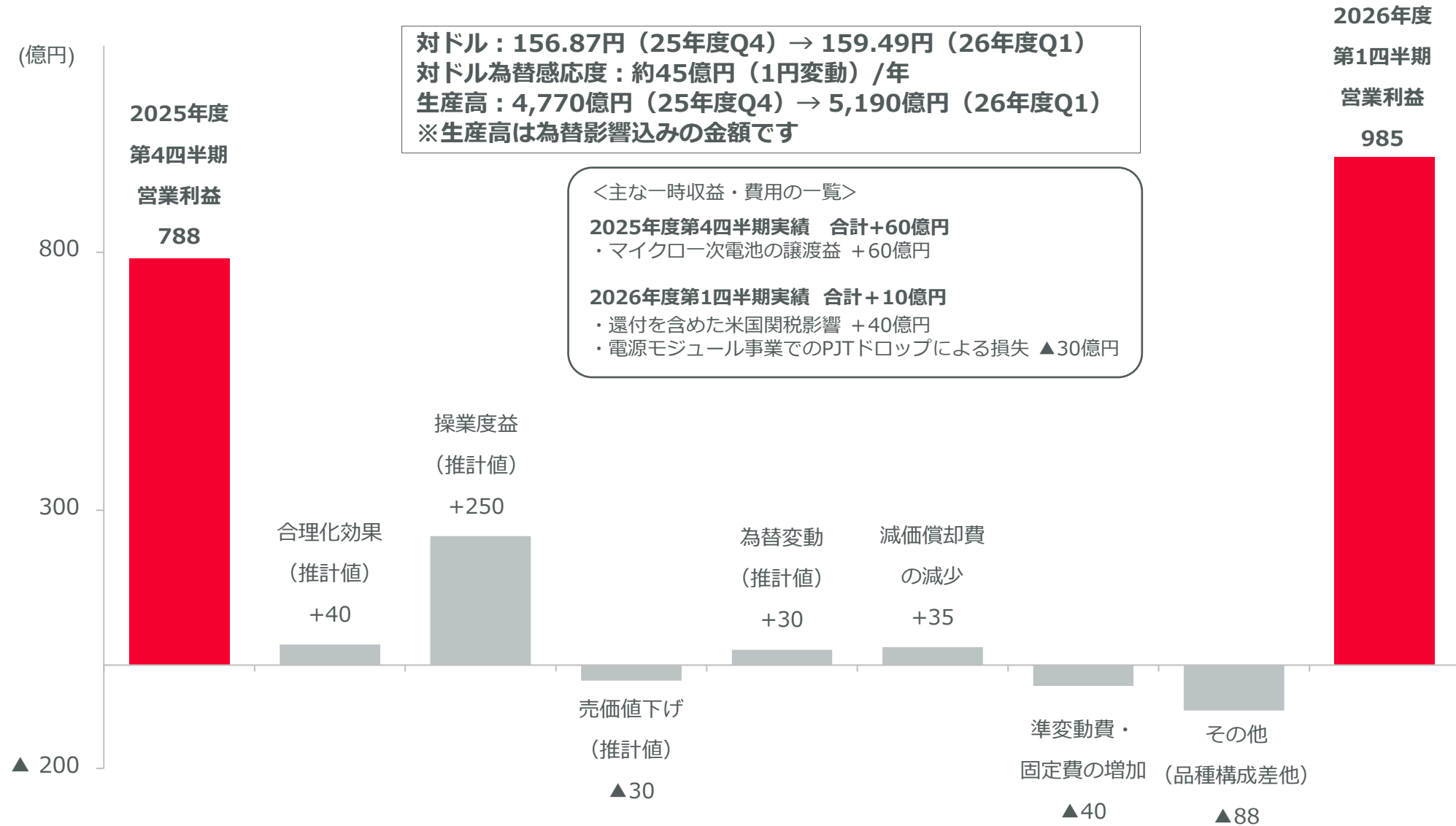
(注) 当社推計値に基づいております。

用途別売上区分と主な用途

- データセンター関連の売上は、コンピュータ向けに含まれる。

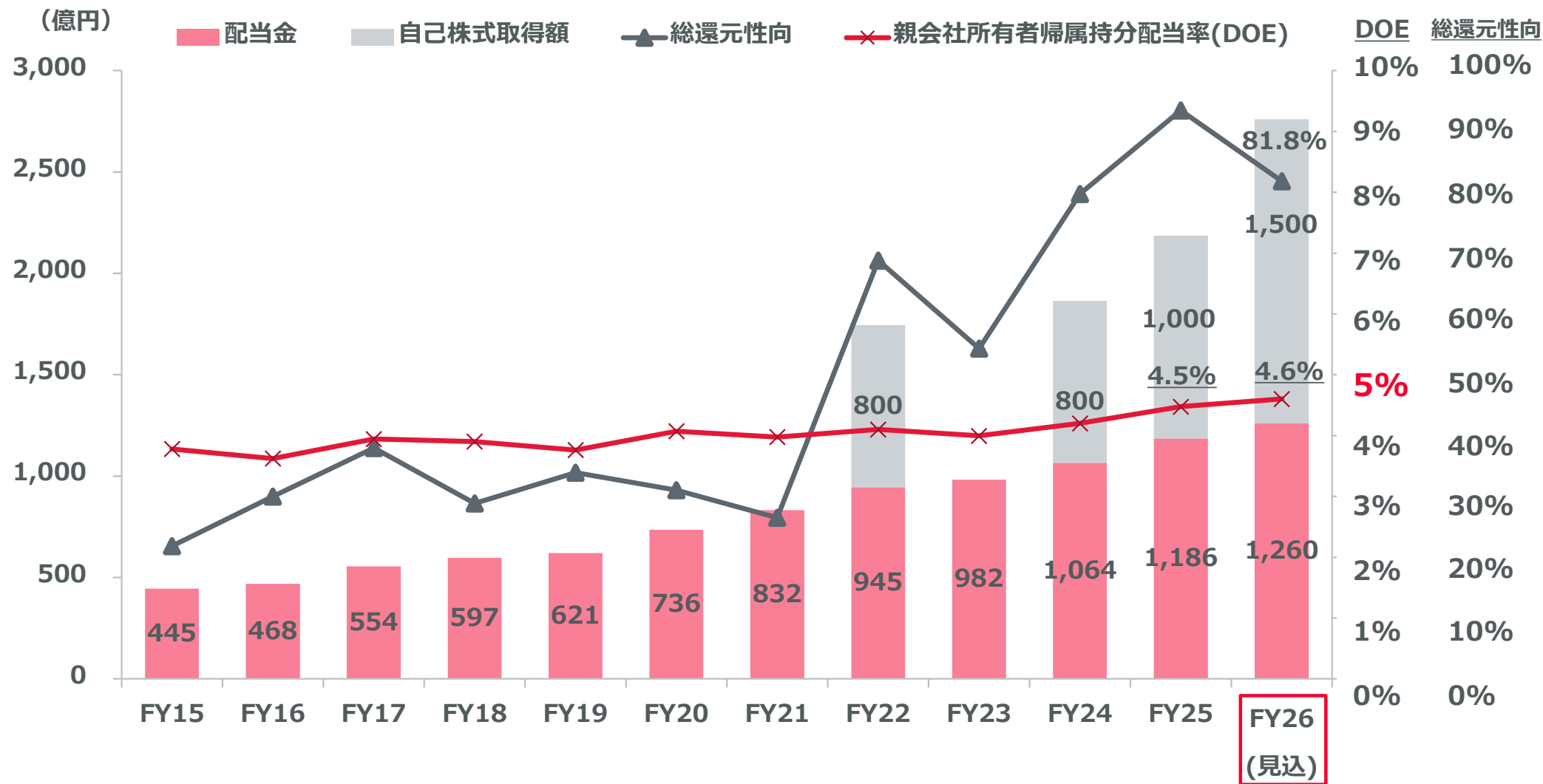
用途別売上区分	主な用途
通信	スマートフォン
	ウェアラブル機器
	基地局
モビリティ	自動車
	2輪車
コンピュータ	PC（Tablet PC含む）、その他コンピュータ関連機器
	データセンター (汎用サーバー、AIサーバー、HDD、アクセラレーターカードを含む)
家電	パワーツール（電動工具・園芸工具）
	AV機器
	その他家電製品
産業・その他	産業機器
	代理店
	ヘルスケア機器
	その他

利益変動要因 [2025年度第4四半期→2026年度第1四半期]



※操業度損益は売価値下げ・為替変動の影響を除いた生産高をもとに計算しております。

株主還元推移



四半期別財務データ_連結業績

(億円)

	2025年度				2026年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	4,162	4,866	4,675	4,606	5,023
営業利益	616	1,035	379	788	985
税引前利益	623	1,125	495	844	1,092
親会社の所有者に 帰属する当期利益	497	827	250	766	814
設備投資	347	407	888	836	410
減価償却費	420	426	443	493	456
研究開発費	398	382	397	411	449
対ドルレート(円)	144.60	147.48	154.15	156.87	159.49

四半期別財務データ_売上収益

(億円)

		2025年度				2026年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
事業別セグメント売上収益	コンデンサ	2,173	2,376	2,391	2,424	2,825
	インダクタ・EMIフィルタ	525	583	564	562	643
	コンポーネント 計	2,698	2,958	2,955	2,986	3,468
	高周波・通信	821	1,206	1,022	899	861
	エナジー・パワー	358	391	389	402	348
	機能デバイス	248	274	271	278	305
	デバイス・モジュール 計	1,426	1,871	1,682	1,580	1,514
	その他	37	37	37	41	41
	売上収益計	4,162	4,866	4,675	4,606	5,023
用途別売上収益	通信	1,376	1,910	1,717	1,527	1,564
	モビリティ	1,133	1,212	1,218	1,181	1,316
	コンピュータ	700	759	773	872	1,029
	家電	368	366	356	337	343
	産業・その他	585	620	610	689	771
	売上収益計	4,162	4,866	4,675	4,606	5,023

(注) 当社推計値に基づいております。

四半期別財務データ_セグメント情報

(億円)

		2025年度				2026年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
コンポーネント	売上収益	2,740	3,002	3,000	3,010	3,493
	営業利益	712	865	764	811	1,136
	営業利益率	26.0%	28.8%	25.5%	26.9%	32.5%
デバイス ・モジュール	売上収益	1,426	1,871	1,682	1,580	1,514
	営業利益	▲80	183	▲364	▲4	▲129
	営業利益率	▲5.6%	9.8%	▲21.7%	▲0.2%	▲8.5%
その他	売上収益	172	158	160	208	190
	営業利益	▲15	▲13	▲21	▲19	▲22
	営業利益率	▲8.9%	▲8.3%	▲13.0%	▲9.1%	▲11.6%
消去	売上収益	▲177	▲165	▲168	▲191	▲175
連結	売上収益	4,162	4,866	4,675	4,606	5,023
	営業利益	616	1,035	379	788	985
	営業利益率	14.8%	21.3%	8.1%	17.1%	19.6%

(注) 当社推計値に基づいております。

muRata

INNOVATOR IN ELECTRONICS